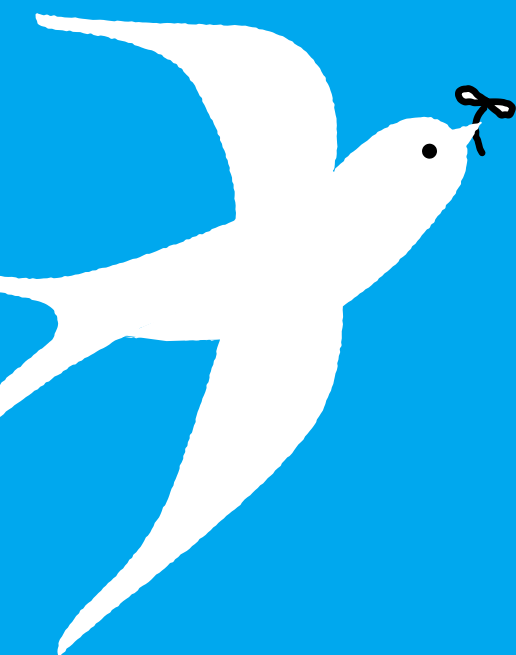


特集

看護基礎教育で

新卒訪問看護師を どう育てるか



滋賀医科大学の「訪問看護師コース」は、「卒業後の選択肢の1つに訪問看護を」という目標を掲げ、2014年に始まりました。現場の訪問看護師などによる60時間の講義・演習と5週間の実習を通し、じっくり訪問看護を学びます。附属病院看護部と大学看護学科、さらに県看護協会が連携することで、就職したあとも支援できる体制を整えました。このコースを受講しても単位として認定されませんが、開講以来、毎年10名近くの学生が訪問看護への熱い思いをもって取り組んでいます。

昨春、第一期生が卒業し、その成果と可能性が見えてきました。

学生のうちに訪問看護を学ぶことで、どんな看護師が育ったのでしょうか？

教育する側、教育を受けた側、双方の声から探ります。